

質問

不登校児童生徒への支援は

教育長

定期的な訪問と連絡で対応



高橋 恵美子 議員

質問 現在の町内小・中学校における不登校児童生徒の状況は。

教育長 不登校児童生徒は、小学校で4名、中学校で15名計19名となっている。あわせて30日以上欠席が懸念される不登校傾向の児童生徒は小学校で2名、中学校で2名、合計4名いる。

質問 不登校児童生徒への支援状況と対策は。

教育長 学校からの定期的な家庭訪問を状況に合わせて必ず定期的に連絡を取っている。また学習支援は、現在ブックPCを使っているオンライン面談・学習への参加も行っている。また学習機会として雲南市教育支援センターで通学送迎の支援も行っている。

質問 支援を続けているが、学校へ戻ってきている傾向はあるのか。

教育長 家族を含めていろいろなところと繋がって欲しいと思っている。例えば何らかの行事の時に来れる。そういう中で少しづつ変わって来る子どもたちも、若干数報告を受けている。

質問 いじめについて、どのような対応をしていくことが大切か。

教育長 小さなサインを見逃さず、いかに情報共有をして、そこに対しての危機感をどういうふうに持って行動に移していくかということが非常に大事だと思っている。



雲南市教育支援センター（雲南市温泉キャンパス）

空き家対策について

質問 現在の空き家・空き家バンクの登録はどれぐらいあるか。

まちづくり産業課長 老朽化した危険空き家も含め543件、空き家バンク登録数は平成24年度からの累計191件、この内117件について売却または賃貸での契約が成立している。

質問 危険な空き家対策は。

町長 地域の住民の安全や景観上の問題にも考慮し対応していく必要がある。実質的に所有者が不在となる場合は、さまざまな手段、法的な手段も含めて、今後検討する。



老朽化した空き家